

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	若葉保育園
日時	令和8年1月23日（金）

## 1. 活動テーマ

### <テーマ>

5歳児「氷と葉っぱで何ができるかな」  
～凍った葉っぱを見て・触れて・試してみよう～

### <テーマ設定理由>

冬の自然に触れる中で、子どもたちが「冷たい」「固い」「つるつるする」など、氷ならではの性質に気づきやすい時期であるため本活動を設定した。また、葉っぱを組み合わせることで、形・色・透け方・貼りつき方などに関心が広がり、子ども自身の「やってみたい」「確かめたい」という思いから探究が深まると考えた。

## 2. 活動のスケジュール

- ・導入：氷（透明、葉入りなど）を提示し、気づいたことを出し合う。
- ・触って確かめる：冷たさ、硬さ、滑り、匂い、音、溶け方などを試す。
- ・試行：割る／削る／重ねる／並べる／日に当てる／水に浮かべる等、子どもの発想で展開する。
- ・共有：見つけたことや「こうしたらこうなった」を伝え合う。
- ・振り返り：次にやってみたいことを出し、次回活動に繋げる。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・氷（前日に子ども達と作った葉っぱを水に入れて凍らせたものを用意）
- ・タオル、拭き取り用布、着替え（濡れ対策）
- ・（必要に応じて）虫眼鏡

## 4. 探究活動での実践

### <活動内容>

- ・園庭で子どもたちは、氷を作るための素材集めから始めた。園庭に落ちている葉っぱを探したり、花壇の大根や人参の葉に目を向けたりして、「これ入れたらどうなる？」と出来上がりを想像しながら選ぶ姿があった。選んだ葉っぱを容器に入れて「葉っぱの氷」を作った。
- ・園庭で前日に作った氷を取り出して観察した。子どもたちはまず見た目の変化に注目し、「昨日の水が固くなってる」「透明になってるところと白いところがある」など、気づいたことを言葉にしなが見比べていた。
- ・触れて確かめる場面では、感覚を確かめながら、持ち上げたり、置いたり、友達に見せ合ったりしていた。氷が溶け始めると変化を追い、溶け方の早いもの・遅いものを比べる姿もあった。
- ・保育士は、子どもの気づきを受け止めながら、「昨日と何が変わった？」「水はどこにいった？」と問いかけ、観察を行う。

## <活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関り>



・園庭で見つけた葉っぱ、花壇の大根や人参、かぶの葉っぱなど好きな葉っぱをカップやバケツに入れて氷作りを楽しんだ。「たくさん葉っぱ入れたから明日氷になるかな」「少ない方が氷になるかもよ」と友達同士でやりとりしていた。「葉っぱの氷、固まるといいな」「明日が楽しみ」と伝えていた。

・固まった氷をバケツから取り出して「冷たい、宝石みたいできれい」「白いのがたくさん見える」と光にかざして見ていた。

・氷を両手でこすり合わせて、溶けて薄くなる様子を楽しんでいた。氷に透明さが増して「ガラスみたいにきれいになった」と見せていた。

・葉っぱの茎を持ち上げて「先生、葉っぱが釣れました」と伝えていた。それを見ていた友達が「氷って塩をつけるとくっつくんだよ」と伝えていた。

・小さくて短い茎に四角い氷がついていた。そっと持ってみると「先生、なんだかハンマーみたいな氷ができた」と伝えていた。友達と「本当だ、ハンマーだ」とやりとりしていた。

・ちゅうりっぷのブランターや水道の周りなど他の場所でも氷があるかと「氷探し」をして楽しんでた。ブランターの土や落ち葉に白い氷を見つけて「ここにも氷があるよ」「土も固くなっている、凍っているのかな」また落ち葉についた白い霜を「氷なのか、雪なのか」と友達同士で会話をし「氷だよ」と納得して答えを出していた。

## 5. 振り返り

### <振り返りによって得た先生の気づき>

- ・氷の冷たさや溶ける変化は、子どもにとって分かりやすく、試した結果がすぐに見えるため、主体的な「次はこうしてみたい」が生まれやすかった。
- ・葉っぱを入れたことで「見た目の美しさ」だけでなく、「溶け方・割れ方の違い」など比較の視点が出てきた。
- ・今後は、溶ける条件（場所、日なた・日かげ、風、厚さ等）を子どもと一緒に整理し、予想と結果を行き来できるようにすると探究がさらに深まると感じた。
- ・翌日の観察では「どうなったかな？」という期待から、自然に見比べたり確かめたりする姿が増えた。素材の違い（落ち葉と大根・人参の葉）が比較のきっかけになり、形・厚み・色の違いを手がかりに、氷の出来方や溶け方にも関心が広がった。氷は変化が分かりやすく、触覚と言葉が結びつきやすいため、「冷たい」「つるつる」「割れる」などの表現が増え、気づきを共有し合う姿が見られた。
- ・保育士は答えを教えるよりも、「昨日と何が変わった？」「どんな感じ？」と問いかけることで、子どもの試したい気持ちや考える力が深まりやすと感じた。
- ・園庭で行うことで、日なた・日かげ、風などの環境差が出やすく、条件で結果が変わることに気づく土台になった。次回は「雪の氷」も作ってみたいと雪が降るのが待ち遠しい思いであった。